



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月28日

上場会社名 美樹工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1718 URL <https://www.mikikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 尚一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 魚澤 誠治

TEL 079-281-5151

四半期報告書提出予定日 2020年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	8,291	△2.5	645	10.8	629	7.0	385	5.6
2019年12月期第1四半期	8,505	△4.1	583	△22.4	587	△21.6	365	△16.7

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 445百万円 (7.0%) 2019年12月期第1四半期 415百万円 (△13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	353.07	—
2019年12月期第1四半期	334.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	28,560	14,760	45.5
2019年12月期	27,678	14,413	46.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 12,992百万円 2019年12月期 12,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	50.00	—	90.00	140.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2019年12月期 期末配当の内訳 普通配当 50円00銭 特別配当 40円00銭

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	△10.4	500	△41.9	500	△42.4	320	△42.5	292.72
通期	30,000	0.4	1,100	△18.2	1,100	△19.8	700	△34.7	640.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	1,153,263 株	2019年12月期	1,153,263 株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	60,081 株	2019年12月期	60,081 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	1,093,182 株	2019年12月期1Q	1,093,245 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大から世界各国における経済の減速感が高まり、その影響を受けて輸出が低迷するなど、先行きは極めて不透明な状況で推移しました。

建設業界におきましても、世界経済の影響を受けて設備投資に消極的な傾向が出始めるとともに、人材不足による労務費の高騰などは改善されておらず、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、新規顧客の獲得など、受注拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの業績につきましては、設備事業セグメントにおいて大型の改修工事が完成した影響から前期と比較して完成工事高は増加しましたが、建設事業セグメントにおいて工事の進捗率の影響から完成工事高が減少したことにより、売上高は前年同期比2.5%減の8,291百万円となりました。

利益につきましては、売上高は減少しましたが、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社及び株式会社リブライフにおいて販売費及び一般管理費の抑制に努めた影響から、営業利益は前年同期比10.8%増の645百万円、経常利益は前年同期比7.0%増の629百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比5.6%増の385百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別営業利益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでおります。

<建設事業>

建設事業セグメントに関しましては、工事の進捗等による影響から、売上高は前年同期比11.3%減の2,789百万円となりました。また、売上高の減少に加えて材料費及び労務費の高騰により、営業利益は前年同期比23.5%減の213百万円となりました。

<設備事業>

設備事業セグメントに関しましては、当社の設備工事において大型の改修工事の完成があったことから、売上高は前年同期比11.9%増の1,290百万円、営業利益は前年同期比74.4%増の125百万円となりました。

<住宅事業>

住宅事業セグメントに関しましては、売上高は前年同期比2.0%増の3,685百万円とほぼ横這いで推移しましたが、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は前年同期比156.0%増の169百万円となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業セグメントに関しましては、当社において前年度に不動産収益物件を売却した影響等から、売上高は前年同期比16.8%減の357百万円、営業利益は前年同期比5.4%減の106百万円となりました。

<その他事業>

その他事業セグメントに関しましては、売上高はほぼ横這いで推移し前年同期比2.0%増の169百万円となりました。営業利益につきましては、第1四半期中に2か所の太陽光発電所を取得し減価償却費が増加した影響等から、前年同期比29.4%減の36百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、工事完成の影響に伴う受取手形・完成工事未収入金等の増加及び太陽光発電所設備の取得に伴う機械・運搬具の増加等により、28,560百万円（前連結会計年度末は27,678百万円）となりました。

負債につきましては、工事代金の支払により短期借入金が増加した影響等から、13,800百万円（前連結会計年度末は13,265百万円）となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により14,760百万円（前連結会計年度末は14,413百万円）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績につきましては、2020年2月13日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルスによる感染症の広がりが2020年12月期の当社グループ連結業績に与える影響は現時点では不明であります。2020年2月13日に公表しました連結業績予想を見直す必要が生じた場合、適時公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,391,649	2,219,141
受取手形・完成工事未収入金等	4,313,240	5,158,096
たな卸資産	5,122,282	4,262,839
預け金	44,686	—
その他	359,505	365,906
貸倒引当金	△3,077	△3,674
流動資産合計	12,228,287	12,002,309
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2,995,807	2,843,407
機械・運搬具(純額)	774,772	1,960,358
工具器具・備品(純額)	709,740	701,648
土地	9,244,323	9,130,834
リース資産(純額)	106,759	91,376
建設仮勘定	52,540	295,928
有形固定資産合計	13,883,943	15,023,553
無形固定資産		
のれん	40,000	30,000
その他	20,907	17,031
無形固定資産合計	60,907	47,031
投資その他の資産		
投資有価証券	588,128	565,146
繰延税金資産	470,662	477,344
その他	491,749	489,889
貸倒引当金	△44,842	△44,642
投資その他の資産合計	1,505,698	1,487,737
固定資産合計	15,450,549	16,558,323
資産合計	27,678,836	28,560,632

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,779,634	1,802,767
短期借入金	2,420,000	3,450,000
1年内償還予定の社債	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	947,024	1,007,024
リース債務	52,428	43,052
未払法人税等	260,971	233,772
未成工事受入金	2,065,954	1,343,279
賞与引当金	136,711	313,429
役員賞与引当金	20,300	5,000
完成工事補償引当金	182,310	51,379
資産除去債務	63,066	47,499
その他	822,084	753,097
流動負債合計	9,050,486	9,050,303
固定負債		
社債	—	300,000
長期借入金	2,908,906	3,094,773
リース債務	60,644	54,001
退職給付に係る負債	541,654	551,009
役員退職慰労引当金	91,891	97,155
資産除去債務	240,821	281,086
その他	370,685	371,710
固定負債合計	4,214,604	4,749,737
負債合計	13,265,090	13,800,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	11,311,055	11,598,637
自己株式	△110,378	△110,378
株主資本合計	12,671,317	12,958,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,386	42,162
退職給付に係る調整累計額	△9,522	△9,054
その他の包括利益累計額合計	51,863	33,107
非支配株主持分	1,690,565	1,768,586
純資産合計	14,413,746	14,760,592
負債純資産合計	27,678,836	28,560,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,505,268	8,291,366
売上原価	6,525,815	6,354,712
売上総利益	1,979,453	1,936,654
販売費及び一般管理費	1,396,422	1,290,828
営業利益	583,031	645,826
営業外収益		
受取利息	3,036	1,740
持分法による投資利益	6,186	4,584
その他	8,623	3,274
営業外収益合計	17,846	9,599
営業外費用		
支払利息	9,061	7,250
社債利息	82	82
支払手数料	—	12,760
その他	3,735	5,936
営業外費用合計	12,879	26,028
経常利益	587,998	629,397
特別利益		
固定資産売却益	—	38,364
特別利益合計	—	38,364
特別損失		
固定資産除却損	0	194
特別損失合計	0	194
税金等調整前四半期純利益	587,998	667,566
法人税等	189,263	203,578
四半期純利益	398,734	463,988
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,075	78,020
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,658	385,967

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	398,734	463,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,963	△19,224
退職給付に係る調整額	249	468
その他の包括利益合計	17,213	△18,755
四半期包括利益	415,948	445,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382,872	367,211
非支配株主に係る四半期包括利益	33,075	78,020

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。